

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・ 中心市街地活性化と都市みらい P 1
- ・ 千代田区MO(マネジメントオフィス) 選定業務を支援 P 2～3
- ・ 機構の活動状況 P 4
- ・ 平成18年度調査研究報告会及び意見交換会 P 5
- ・ 会員紹介：建設技術研究所 P 6

《ハイライト》

- ・ 中心市街地活性化と
都市みらい
- ・ 千代田区MO(マネジメント
オフィス) 選定業務を支援

§ 中心市街地活性化と都市みらい

中心市街地活性化施策については、今年8月22日の法施行、9月8日の基本方針閣議決定、9月26日国のマニュアル策定を経て、市町村の中心市街地活性化策が本格的に始動しました。

このような動向を見て、当機構は10月18日、いち早く国の中心市街地活性化本部と国土交通省の担当官を招いた講演会を開催し、この施策についての普及・啓発活動を行いました。また、市町村からの依頼により基本計画策定業務の受託を始めており、中心市街地活性化についての市町村の取組みを積極的にサポートすることとしております。

当機構は昭和60年7月に新しい都市拠点の形成等都市の活性化に関する総合的な調査、研究の実施を目的に設立されて以来、主に中心駅周辺や中心市街地の都市計画にかかわって、まちづくりの先導役を務めてきました。この間、事業手法として「新都市拠点整備事業」に始まり、「街並み・まちづくり総合支援事業」を経て、平成16年度には「まちづくり交付金制度」に引き継がれました。この変遷の中に、まちづくりが公共主導からより民の力に期待する公民連携へ、拡張する都市の整序化から生活の場づくりへ、など大きな変化の流れの中にあると見てとることができます。

このような時代の変化の中で、今回のまちづくり三法の改正をとらえ、それに応じた見直しが期待されているものと考えます。都市みらいは中心市街地活性化施策の推進においても、情報の発信に努めるとともに受託業務を通じて、まちづくりの一番核になる部分に関わりながら、その先導役を務めて参りたいと考えております。

今後とも皆様からのご理解、ご支援のほど、よろしく申し上げます。

(財)都市みらい推進機構専務理事
佐々木 健



§ 千代田区MO（マネジメントオフィス）選定業務を支援

千代田区では全国に先駆け、行政・民間・地元が一体となってまちづくりを進めるための中核的組織としてMO（マネジメントオフィス）を選定しました。

駅周辺地区整備構想づくりや整備スケジュールの作成や開発事業者との調整など、従来は行政が担ってきた街づくり機能の一部を民間事業者に一括して担当してもらうという全国に先駆けての民間活力活用システムです。

当機構ではこうした新しい手法への取り組み支援の他、国土交通省が有識者を集めて主催している地区開発マネジメント研究会の事務局を務めるなど、地区マネジメントについて積極的に取り組んでおります。

ご関心をお持ちの方は遠慮なくご相談ください。

照会窓口：企画調整部

平成18年11月

千代田区

地域まちづくりをマネジメントする民間事業者を決定

千代田区では、神田駿河台地域と飯田橋・富士見地域で進めているまちづくりに、地域の構想・ルールづくりから、事業化に向けた関係者調整や資金調達、進行管理までを一貫して行う、地域まちづくりのマネジメント組織「マネジメントオフィス」を担う事業者が決定しました。なお、選定された事業者には、公平・中立の観点から、業務期間中は地域内の開発等への関与を制限しています。

この取り組みは、民間事業者が、開発から独立した立場で行政と連携し、地域内の複数の開発に対し開発と地域・公共との関係を調整し地域課題の解決を図るものであり、全国的にも新しいタイプのまちづくりへの挑戦です。

■対象地域

- ・飯田橋・富士見（飯田橋1～4丁目、富士見1・2丁目、九段北1丁目、2丁目（一部））
- ・神田駿河台（神田駿河台1～4丁目、猿楽町1・2丁目（一部））

■委託事業者

- ・飯田橋・富士見地域 : パシフィックコンサルタント株式会社
- ・神田駿河台地域 : 三菱総合研究所グループ
(株式会社三菱総合研究所、セントラルコンサルタント株式会社、日本交通技術株式会社)

■業務委託期間

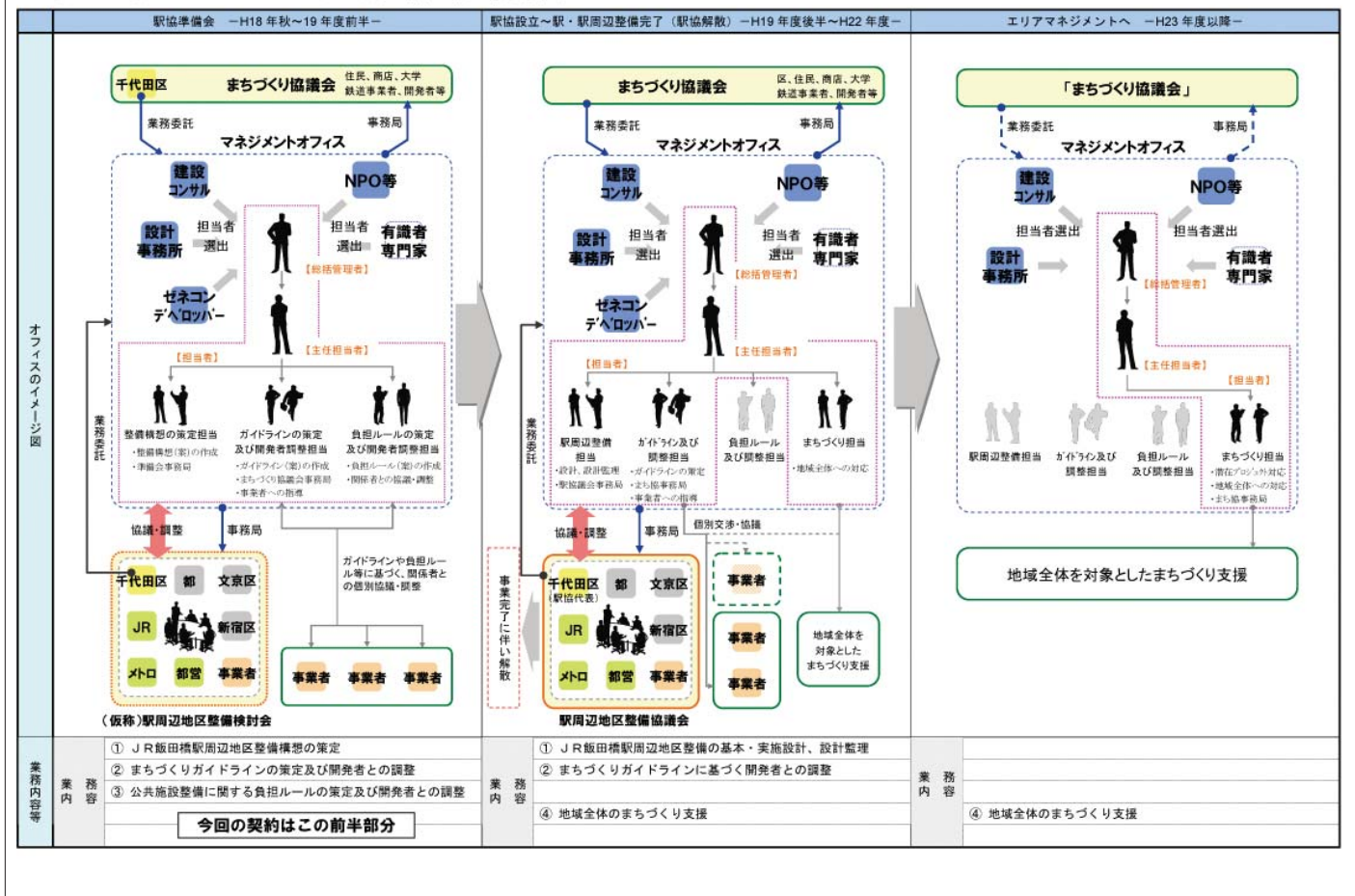
- 平成18年11月から概ね平成22年度までを想定
- 今回の契約期間は、平成18年度末までとし、適宜継続予定
(平成19年度上半期まで千代田区から以下の3つの業務を委託。将来的に協議会からの契約に切替予定)

■業務内容

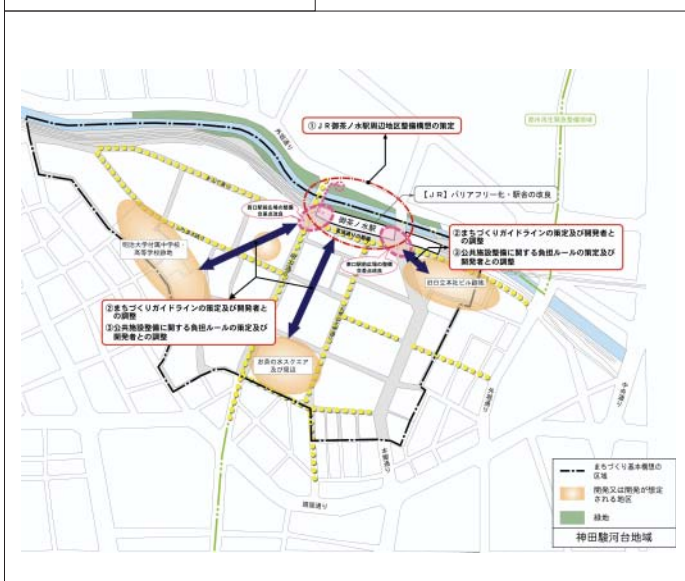
- (1) 駅周辺地区整備構想の策定
 - ・整備構想(案)の作成、駅周辺整備の協議組織の事務局
- (2) まちづくりガイドラインの策定及び開発者との調整
 - ・ガイドライン(案)の作成、地域まちづくり協議会の事務局
 - ・ガイドラインに基づく開発事業者に対する指導
- (3) 公共施設整備に関する役割分担ルールの策定及び開発者との調整
 - ・負担とインセンティブ等のルール(案)の作成
 - ・開発者との協議・調整



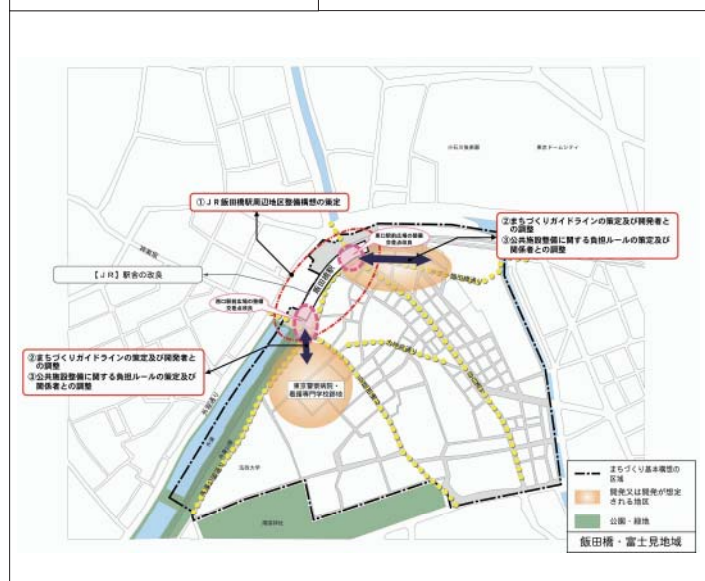
マネジメントオフィスのイメージ (飯田橋・富士見地域)



神田駿河台地域



飯田橋・富士見地域





§ 機構の活動状況

日	11月	日	12月
1	地域資源活用構想策定調査 「川西市地域意見交換会」	4	地域資源活用構想策定調査 「宗像市地域意見交換会」
2	地域資源活用構想策定調査 「羽咋市地域意見交換会」	5	普天間飛行場跡地利用計画策定基礎調査 意見交換会 (語彙形成、跡地利用、周辺市街地)
9	浜松まちなかUMO検討委員会	8	品川新拠点研究会(Ⅱ): 政策投資銀行、JAPIC他との意見交換
15	平成18年度調査研究報告会及び意見交換会	11	鉄道跡地等大規模土地利用転換調査
16	品川新拠点研究会(Ⅱ)幹事会	12	豊田市中心市街地活性化基本計画策定調査 第4回プロジェクト会議
16	普天間飛行場跡地利用計画策定 基礎調査意見交換会(供給処理、都市拠点)	14	豊田市中心市街地活性化基本計画策定調査 第2回策定委員会
17	普天間飛行場跡地利用計画策定 基礎調査意見交換会(公園・環境)	18	MIPIM2007第2回全体会議
20	東久留米市地域産業振興委員会(11回)		
21	豊田市中心市街地活性化基本計画策定調査 第3回プロジェクト会議		
22	第3回あつぎを潤す水の道づくりワークショップ		
27	普天間飛行場跡地利用計画策定基礎調査 意見交換会(交通、文化財)		
28	普天間飛行場跡地利用計画策定基礎調査 意見交換会(振興拠点)		
28	地域資源活用構想策定調査「美波町地域意見交換会」		
29	地域資源活用構想策定調査 「七戸町地域意見交換会」		
29	日米PPPフォーラム		
30	高知駅周辺拠点街区地権者会		

【機構関係諸団体】

《インテリジェントシティ整備推進協議会》

7	ユビキタス/ユニバーサルまちづくり研究会 (第2回)	4	17年度研究会成果の対外紹介
---	-------------------------------	---	----------------

《地方の拠点まちづくり協議会》

14	浜松まちなか魅力化戦略研究会(第2回)	13	まちづくり協議(飯田市)
----	---------------------	----	--------------

《都市地下空間活用研究会》

10	大阪分科会 WG2 会議	8	第4回 八重洲・京橋・日本橋地区分科会
21	八重洲・京橋・日本橋地区分科会 拡大幹事会	13	中心市街地と地下ネットワークのあり方
22	ACUUS理事長・ITA事務局長意見交換会		分科会 拡大幹事会
24	大阪分科会 村橋座長ヒアリング	25	大阪分科会 全体会
27	大阪分科会 WG1 会議		
29	中心市街地と地下ネットワークのあり方 分科会 広島紙屋町地下街視察会		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

9	第18回技術研究発表会		
9-10	第13回交流展示会		
10	首都圏都市基盤施設整備見学会 (東京臨海副都心周辺)		



§ 平成18年度調査研究報告会及び意見交換会

去る11月15日、マツヤサロンにて弊機構の調査研究報告会を開催しました。研究報告会は機構の受託調査、自主研究、表彰活動の内容を会員の皆様にご紹介し、意見交換を行う場としております。

本年は研究報告会に先立ち、国土交通省 都市・地域整備局まちづくり推進課 都市総合事業推進室長 望月明彦様にご講演「まちづくりの最近の話題について」を頂きました。

その後、平成17年度調査の全体概要報告、受託調査報告、自主研究報告、表彰活動報告および会員意見交換会を行い、会員の皆様との意見交換をさせていただきました。

弊機構では下記業務の他に様々な業務に携わっております。会員の皆様には、お気軽に弊機構にお問い合わせいただき、それが何かしらのヒントとなればと思っております。

当日の報告内容は下記の通り

受託調査報告

- | | | |
|---------------------|---------|------|
| ①まちづくり情報交流コーナーの取り組み | 企画調整部課長 | 中川伸治 |
| ②地区開発マネジメントに関する調査 | 開発調整部課長 | 藤井由佳 |
| ③普天間飛行場跡地利用基本方針策定調査 | 開発調査部長 | 稲岡英昭 |
| ④JR高知駅周辺拠点街区のまちづくり | 開発調査部課長 | 若林宏幸 |

自主研究報告

- | | | |
|-----------|--------|------|
| ⑤品川新拠点研究会 | 企画調整部長 | 篠原康明 |
|-----------|--------|------|

表彰活動報告

- | | | |
|------------------|---------|------|
| ⑥平成18年度土地活用モデル大賞 | 開発調整部課長 | 森田宏亮 |
|------------------|---------|------|



望月室長



中川 伸治



藤井 由佳



稲岡 英昭



若林 宏幸



篠原 康明



森田 宏亮



§ 会員紹介：建設技術研究所

「テーマはいつも・・・Confidence Technology Identity」

■建設技研はこんな会社です！

当社は1945年、社会資本整備の調査・計画と設計を担う専門技術者集団、わが国初の建設コンサルタントとしてスタートしました。当初は、主に河川や道路の公共事業に関わる技術サービスを提供してきましたが、近年では、まちづくりなどの都市部門やPFIなどのマネジメント部門、情報部門、環境部門など、様々な部門に積極的に取り組んでおります。特に、都市部門では平成18年6月に「福岡土地区画整理株式会社」を新たなグループ企業に加え体制強化を図っています。

■まちづくりに関わる新たな取り組み

現在、当社の都市部門では、総合コンサルタントの特徴を活かして、複数の事業を同時に調整するコーディネートとコンサルティング業務に取り組んでいます。

一例を挙げれば、川とまちづくりの一体的な整備事業や駅・まち一体改善事業など複合事業（詳細は下記参照）、都市再生整備計画策定から事後評価・次期計画作成に関わるまちづくり交付金事業全般の支援、地域密着型のPFI事業支援などを行っています。

《トピックス①》 松戸市馬橋駅西口地区事業化モデル計画について

馬橋駅前の広場は、昭和40年代に土地区画整理事業で整備された公共用地で噴水や、築山などがある広場ですが、駅舎への出入りは階段が2つあるだけで交通結節点としては移動円滑化等に課題を残していました。

当社では、市の交通バリアフリー基本構想策定に関わったのを契機に、地域活性化を図るため、鉄道用地に隣接する土地の有効活用について検討を行いました。主な、検討項目は、駅周辺の適正な公共施設の再配置計画、開発ポテンシャルの把握、事業採算性のチェックなどを行っています。

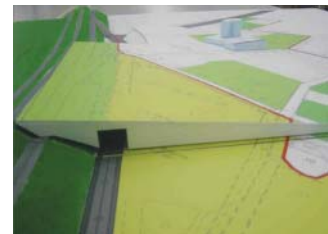
今後は、今回の調査内容が駅舎及び駅関連整備事業と一体となった周辺開発の実現化に役立つことを期待しております。

《トピックス②》 篠崎公園地区まちづくり計画について

江戸川区では、まち全体が水害に強く安心して安全な暮らしが実現できるよう沿川で高規格堤防整備と一体となったまちづくりを推進しております。

当社では、公園・緑地整備事業や、区画整理事業等を開発手法としたまちづくり計画の策定支援を行っています。

特に、公共施設の整備については河川事業とまちづくり事業など複数の事業主体が関わることから、国土交通省、東京都ならびに江戸川区との協議検討を円滑に進め、住民主体となったまちづくりについて技術的な支援を行っています。



整備イメージ検討模型

このような業務の内容や、当社の都市部門にご興味・ご関心がある方は、お気軽に下記までご連絡をください。

CTI 株式会社 建設技術研究所

お問合せ：東京本社都市部 03-3668-4548

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧ください
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他